



世界糖尿病デー

11月14日

ブルーにライトアップされる大阪城
「世界糖尿病デー」の制定を記念し、糖尿病の予防と治療に対する啓発のため、世界約180ヶ所で糖尿病啓発のシンボルカラーである青にライトアップされました。写真はそれの際の大阪城です。

特集

知っているようで知らない

糖尿病の基礎知識

- 医心伝心～医の最前線から～
- ナースフェイス 私の看護、私の思い
- VOICE 医療連携の現場
- シリーズ 清恵会三宝病院
回復期リハビリテーション病棟で365日リハを実施
- 学院だより
地域医療の未来を支える若き力
- 気軽にお体メンテナンス
早期のチェックで病気にチャック!
- 清恵会グループ通信
「清恵会地域医療連携懇談会」開催のご報告

知っているようで知らない 糖尿病の基礎知識



糖尿病の発症には、 遺伝的素因と肥満が関係

糖尿病の実態と現状について、北岡治子院長に伺いました。

人の血液中の血糖の量は、インスリンやグルカゴンなどのホルモンの働きによって、一定の濃度に保たれています。この血糖が、何らかの要因によって慢性的に高くなっている状態が糖尿病です。糖尿病になると、高血糖が非常に重症の場合には意識障害などを起こすこともあります。多くの場合は、口渇(こうかつ)、多飲、多尿や体重減少の症状がみられる程度で、全く症状のないことも多いのです。

しかし、慢性的な高血糖状態が何年間も続くと、糖尿病の3大合併症といわれる網膜症、腎症、神経障害が進行してきます。ただし、これは血糖を良好にコントロールすることによって防止できることが、研究で明らかとなっています。また、糖尿病でない人に比べて動脈硬化に基づく病気(心筋梗塞や脳梗塞など)の出現率が2~4倍になるとも言われて



います。

糖尿病は、大きく1型糖尿病と2型糖尿病、その他の糖尿病に分けることができます。1型糖尿病は血糖を下げるインスリンを分泌するβ細胞が障害される状態を下げ機能が働かなくなる状態です。インスリン治療が必要となります。「一般的に「糖尿病」と言う場合は、日本の糖尿病患者の90%以上を占めている2型糖尿病を指しています。

2型糖尿病は遺伝的な素因の影響が大きく、また肥満等の要素と絡み合って発症します。なぜ肥満が良くないかという点、脂肪の蓄積によってインスリンが効きにくい体質となり、血糖が上がるためです。脂肪の蓄積と一言で

言っても、問題なのは皮下脂肪よりもメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)で知られる腹腔内脂肪で、これが増えると糖代謝の異常を引き起こしてくるのです。そのため、食事や運動など生活習慣の管理が重要視されています。

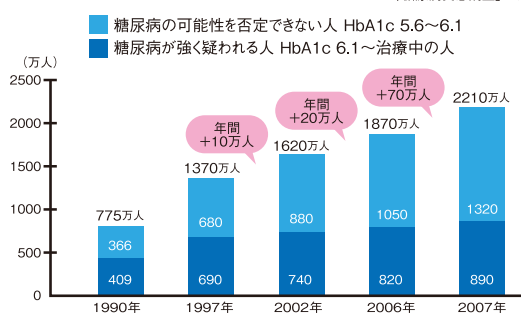
肥満の目安は、BMI(体重÷身長÷身長で算出する体格指数)を計算すると良いでしょう。従来、BMIは22が最も健康的と言われており、肥満学会の基準では、25以上が肥満となるので注意が必要です。腹囲の場合は、男性が85cm、女性は90cm以上になると注意が必要です。必ずしも標準体重まで落とさなくとも良いので、食事や運動に気をつけて、少しずつ体重を減らして腹腔内脂肪が減少すると、血糖値は改善されていきます。

検査・健診での早期発見が 重度の症状を防ぐ

国内の糖尿病患者は増え続けており、2007年では890万人です(※P2下表)。これは世界的な傾向で、日本や中国を含む西太平洋地域では2007年

日本における糖尿病患者の推移

厚生労働省「糖尿病実態調査」より



11月14日は国連の定めた「世界糖尿病デー」です。

糖尿病は、自覚のないまま進行する、合併症が怖い、早期に発見し、きちんと対応すれば大丈夫…。そんな断片的な話は耳にしますが、私たちは本当にこの病を理解しているのでしょうか。今回の特集では、清恵会病院の院長であり糖尿病の専門家でもある北岡治子先生に糖尿病の現状や基礎知識についてインタビュー。エキスパートとして臨床現場で活躍する呉美枝先生に、清恵会病院での治療内容や取り組みについて伺いました。



連携しながら対応します。教育入院は、初回治療やコントロール不良の方を対象にした火曜入院、火曜退院の1週間コースで、1回に最大5組の受け入れ体制で毎週行っています。入院中は、専門医によるオリエンテーションと心理テスト、各専門のCDEによる食事療法、薬物療法、運動療法の指導に加え、フットケアや自己血糖測定(SMBG)の指導を行います。生活習慣を変えることへの抵抗を軽減するために、心療内科医のカウンセリングも行っています。

糖尿病の治療は、初診で血液と尿の精密検査を行い、病態を確定させます。治療は食事療法と運動療法をベースに置き、必要



あります。そこで、糖尿病チェックシート(※P3下参照)で糖尿病の可能性を確認してみてください。

この項目にもあるように、高血糖状態が持続すると、喉が渇く口渴、それによって水分を多くとる多飲、多尿といった症状が現れてきます。多尿は、体内の血糖を下げるための代償機能のようなもので、水分を多量にとることで尿とともに糖を排泄(はいせ)する働きです。多尿で100gの糖が出るのと400カロリーのエネルギーを口にするため、どんどん痩せることとなります。これは、急激な高血糖や糖尿病が進行した場合に多く、身体は疲弊していくた

め、痩せたといつても安心はできません。このチェックで、自分に当てはまる項目が0〜1点の人は、糖尿病になる素因や悪い生活習慣もないといえます。ただし、血縁者に糖尿病歴の方がいる人や、夜、寝ている間に毎日トイレに起きる人は、多尿の始まりといえるので注意が必要です。2〜5点の人は糖尿病になる素因や症状、良くない生活習慣が見られる方で、過食・肥満・運動不足などの改善やストレスを避けることが必要です。6点以上は、慢性的な高血糖や糖尿病の疑いが濃厚です。早急に内科を受診されることをお勧めします。

発見が遅れるほど糖尿病は重症化するので、早期発見は大きな課題となっています。近年は、国を挙げて、生活習慣病に関わる特定健康診断や特定保険指導を積極的に行っており、いわゆる「メタボ健診」や糖尿病では「空腹時血糖・HbA1c(グリコヘモグロビン)」の検査を勧めています。実際に、清恵会病院では、糖尿病合併症である糖尿病腎症や網膜症の増加率は頭打ちの傾向にあります。これは、糖尿病に対する認識

にに応じて薬物療法を考慮して血糖状態を改善していきます。昨年、10年ぶりに糖尿病の新しい治療薬が日本でも使えるようになり、結構、ドラマチックに効きます。従来ならインスリン投与が必要な人も、今は投薬で改善するケースもあります。この「DPP-4阻害薬」という経口薬は、インスリン分泌を向上させ、β細胞にも優しく、かつグルカゴンという血糖を上げるホルモンを抑制する働きもあるので、軽症者の方から重度の方まで単独や他の薬との併用で使用しています。この系統の薬には、より効果が高い注射タイプもあります。悪心などの副作用も起きますが、食事の制限や体重減少にも効果があります。

インスリン投与も、2型糖尿病の場合は一生涯続けるとは限らず、代謝が改善すれば、食事・運動療法と内服薬のみで良好な状態をコントロールできるような方もいます。

足のトラブルと患者会 継続したサポートが充実

糖尿病の関連障害や治療継続

のためサポートにも力を入れています。2006年に設立したフットケアセンターでは、足のトラブルを抱える事が多いハイリスクの糖尿病患者様に対して、ドイツ式フットケア「フスフレイゲ」の手法に基づいた予防的処置を行っています。地域の開業医の先生方からの紹介も受け入れており、足のたこやツメの水虫の処置、自己管理のアドバイス、足が変形した方への義肢器具の紹介などを行っています。

他にも、日本糖尿病協会の患者会の支部である「めぐみ会」の活動も行っています。当会では、独自の講演会、遠足などのレクリエーションによる患者様同士や医療スタッフとの交流を通じて、



清恵会病院 内科 副部長 吳 美枝
日本糖尿病学会糖尿病専門医。内科の診療全般とともに最前線での糖尿病治療を行う。



清恵会病院 院長 北岡 治子
日本糖尿病学会糖尿病研修指導医、同学会の糖尿病専門医、学術評議員。病院運営の傍ら臨床現場にも立つ。

糖尿病と診断された時。まずはこの病を受け入れる気持ちが一番大切だといえます。「自分の病気と体の状態を理解して、その事実を受け止めること。そこが糖尿病治療のスタートラインです」(北岡院長)

糖尿病と診断された時。まずはこの病を受け入れる気持ちが一番大切だといえます。「自分の病気と体の状態を理解して、その事実を受け止めること。そこが糖尿病治療のスタートラインです」(北岡院長)

継続的な療養を支援しています。糖尿病から逃げても、悪くなる一方です。私たちもお手伝いをしますので、糖尿病とうまく付き合ってくださいと思います。

糖尿病と診断された時。まずはこの病を受け入れる気持ちが一番大切だといえます。「自分の病気と体の状態を理解して、その事実を受け止めること。そこが糖尿病治療のスタートラインです」(北岡院長)

内科の専門チームで、糖尿病治療と指導を実施

では、検査で糖尿病と判明した際は、清恵会病院の治療について、呉先生に伺いました。

当院内科は、日本糖尿病学会認定教育施設として、糖尿病の方の外来治療や教育入院を行っ

ています。患者様は、検診などで発見されて紹介される方以外に、他の病気で診療所を受診した際、偶然糖尿病が見つかった紹介されるケースが多いですね。

当院では、糖尿病専門医をはじめ、看護師・管理栄養士・理学療法士・薬剤師の全12名の糖尿病療養指導士(CDE)、さらに臨床心理士や心療内科医で構成される糖尿病チームがあり、チームでの治療や指導を行っています。合併症には、他の診療科や清恵会グループの透析クリニックと

！ 糖尿病チェックシート

- 親や兄弟に糖尿病の人がいる
- 甘いものや油っこいものが好きである
- お酒を週に3回以上飲む
- スポーツはしない
- ほとんど歩くことがない
- ストレスが多い
- 若い頃よりもかなり太った
- 最近、なぜか体重が減っている
- のどがよく渇き、水分をよくとる
- 夜中に一度は必ず尿意をもよおして起き、トイレへ行く

項目数 6〜10 ▶ 危険度 A 糖尿病の疑いが濃厚
 項目数 2〜5 ▶ 危険度 B 糖尿病の危険あり
 項目数 0〜1 ▶ 危険度 C 現状はほぼ心配なし

Nurse Face ナース・フェイス —私の看護、私の思い—

MY
テーマ

一人ひとりの意志や希望を尊重する

リハビリテーション病棟で働く私の仕事

急性期を脱した患者様の社会復帰や転院を目的としたリハビリテーションを行う病棟で、リハビリ支援を行っています。患者様の健康の段階と患者様やご家族の回復への思いが合わないため、ご希望をかなえられない時には葛藤があります。新人の頃、患者様から「あなたが支えてくれたから病氣と向き合い、頑張る事ができました」と言われた経験は、今も心に残っています。初心を忘れずスタッフみんなで患者様と関わってまいります。

看護に対する私の思い

私のモットーは、患者様主体の看護です。医療従事者の言葉は、患者様やご家族の心を大きく左右するため、仕事の現場では、いつも自分の言動や対応の一つひとつに注意を払っています。目標とするのは、患者様やご家族の意志を尊重した看護を提供できる看護師。そのために、看護や在宅支援の活用方法まで病院内外のスタッフから幅広い知識を吸収し、学びを深めていきたいと思っております。



清恵会病院 中4階病棟
清水 実樹 さん

Profile

2011年6月入職。「前向きな性格とコミュニケーション能力で、常に相手を深く理解するよう心がけています」。

MY
テーマ

患者様の負担を軽減できるよう努力を重ねる



清恵会三国丘クリニック
藪内 育子 さん

Profile

2005年9月入職。「幅広い年齢の方と交流して、楽しみを共有し合ったり、親睦を深めたりする事が好きです」。

外来クリニックで働く私の仕事

内科・整形外科・形成外科・小児科・リハビリテーション科の外来診療における看護全般を担当しています。ひと月に延べ5000人ももの患者様と出会いますから、多忙な中でも迅速かつ適切、丁寧に業務をこなす必要があります。一人ひとりの個性と仲間を大切にしたい良い雰囲気づくりが結果的に良い仕事につながると信じ、看護師、クラーク、コメディカル等クリニックのスタッフみんなで支え合いながら業務に取り組んでいます。

看護に対する私の思い

看護師として、技術面には患者様の異変にいち早く気づき医師へ報告すること、接遇面では大切な時間を割いて来られる患者様のお名前とお顔は必ず覚え、笑顔で接する事をモットーにしています。患者様からは、「清恵会が好きやねん」「みんな親切で優しいし、ここ以外に行きたくない」という言葉をいただきます。今後もその思いに応えられるように、勉強会や講演会へ積極的に参加するなど日々、自己成長していきたいと思っております。



清恵会病院 脳神経外科部長 奥村 嘉也

Profile

1961年生まれ。'87年に奈良県立医科大学を卒業、同第2外科学講座に入局。'95年から清恵会病院医員、'06年より現職。日本脳神経外科学会、日本脳卒中学会の専門医。'95年度奈良県医師会学術奨励賞を受賞。'98年、一過性脳虚血後の皮質毛細血管に関する研究で医学博士号取得。

医伝心 #06

～医の最前線から～

緊急手術から予後に至るまで、
自分にできる全力を尽くして、
日々、脳神経疾患へ立ち向かう。

緊急手術を中心に あらゆる疾患を診療

脳神経外科には、脳神経外科学会及び脳卒中学会専門医2名を含む3名が所属しています。特に脳卒中や頭部外傷例の緊急手術に重点を置いており、ER（救命救急室）と連絡を取り合いながら24時間365日のオンコール体制で診療に当たっています。また、月・水・金と週3回の一般外来でも、脳神経疾患の専門的な診断と治療を行っています。

手術には、毎回重大な責任をもつて臨みます。3〜10時間以上と長時間に及ぶ手術を無事に終え、患者様が退院される際は「病気に勝った」と共に喜び合っています。ただ、脳疾患は患者様の生命に関わりやすく、手術がうまくいっても患者様の精神的ダメージが病状の経過に少なからず悪影響を及ぼします。そのため、患者様に対しては、心の不安を取り除き、前向きな姿勢を引き出せるようなコミュニケーションを心がけています。

特に近年は、手術が必要な脳梗塞症例が増え、クモ膜下出血や脳内出血例が減っているように感じます。これは、糖尿病や肥満、高血圧など生活習慣病の原因とした脳の血管閉塞の増加が原因だと思います。こうした症例では、内科など他の診療科と連携を取り、手術後の全身的な治療につなげていきます。ただ、一度、脳の重大な疾患を起こすと、多くの場合は後遺障害が残ります。そのため、生活習慣病の抑制によって脳神経疾患を予防することが最も大切です。

心の安定を目指しながら さらなる向上に励む

手術には体力と持久力が必要なたため、柔軟運動と筋力トレーニングは毎晩行っています。ただ、これは体のリラクセス法でもあり、仕

事外の時間は、できるだけ仕事のことを忘れるように心がけています。また休日は、泉佐野や和歌山の漁港の市場での買い物など遠方へのドライブ、バレーボール、使用済切手収集、読書などの趣味を楽しんでいます。趣味は、好きな時間を楽しむという感覚です。

以前は熱くなりやすい性格で、その自戒も込めて10年前に、人力のすべてを尽くして身を天命に任せ、いかなる時も心を動かされない「安心立命」の境地を目標に人生を過ごして、「こうと決めました。まだまだその域には遠い状態ですが、まずは自分にできることとして、さらに治療予後の充実と自身の医療技術の向上に努めていきたいと思っております」。





「365日リハ」を実施

専門スタッフが自宅を訪ねて退院後の生活について助言

2000年に専門職の人数などの基準を満たした「回復期リハビリテーション病棟」(以下、回復期リハ病棟)の制度が新設され、入院して集中的にリハビリテーション(以下、リハビリ)を受けられるようになりました。この「回復期リハ病棟」では、患者様の状態に応じて、寝返りやベッド上での起き上がり、歩行、衣服の着替えやトイレでの排せつなどの練習を行います。また、脳卒中が原因の場合、言語聴覚士が言葉の練習や嚥下(えんげ、飲み込み)の練習をすることもあります。

現在、「回復期リハ病棟」は全国に1081病院、1346病棟(2010年12月全国回復期リハ)

ハビリテーション病棟連絡協議会(調査)があります。そんな中、2010年の診療報酬改定により、患者様が入院当初から、さらに集中的なリハビリを継続して受けられるように、休日も平日と同様のリハビリの提供が可能な体制を評価する「休日リハビリテーション提供体制加算」(以下、365日リハ)が設けられました。しかし、全国における365日リハ対応状態は63.3%で、要件対応がいまだ調整中と見受けられる状態でした。

大阪府下の状況を見ると、2010年2月に読売新聞が「回復期リハ病棟」を有する病院にアンケートを行った結果、「回復期リハ病棟」47施設のうち、日曜や祝日もリハビリを実施しているのは21施設(45%)でした。

とはいえ、近年のリハビリでは、毎日休まず続ける方が効果は上がるという考え方が主流になりつつあり、土曜や日曜、祝日にもリハビリを実施する施設が増えていきます。こうした状況を受けて、清恵会三宅病院では、2011年6月から「365日リハ」サービスを開始しました。

当院の「365日リハ」は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が病棟内でリハビリを行い、患者様の容態が急に悪くなった場合も、すぐに病棟スタッフに連絡できる体制を整えています。

「365日リハ」導入後は、休日も手・足の運動や動作練習、言語療法を行う事によって、ベッド上安静の患者様に1日1回でも起き上がり座位を取っていただく機会、車椅子に長時間座っている患者様にベッドへの臥床(がしよつ)床につく事や歩行練習を行う機会が増えています。こうした継続性が身体への負担を軽減させ、週明けのコンディションを整えることが可能となっています。また1日も早い回復を期待している患者様の中には、休日にリハビリがないと焦りを感じる方もおられます。そのため、「365日リハ」には、患者様を精神的にもサポートできると感じています。

シリーズ06
清恵会三宅病院



回復期リハビリテーション病棟で
土日・祝日も対応の
「365日リハ」を実施



VOICE 医療連携の現場

清恵会の特色である、医療連携の現場を皆様にお伝えします。

Vol.1 糖尿病性腎症の患者様に対する連携

皆さん、「人工透析」とは腎臓の機能障害の治療だと認識されていますよね。でも、腎障害の一番の原因が「糖尿病」という事はご存知でしたか？ 清恵会グループでは、清恵会病院、清恵会三宅病院、清恵会向陵クリニック合わせて、240人の人工腎臓透析患者様がおられます。今回は私から、専門医と糖尿病療養指導士による糖尿病の専門治療・急性期の透析を行う清恵会病院と、外来での慢性期の透析を行う清恵会向陵クリニックの連携体制をご紹介します。



NAVIGATOR
清恵会向陵クリニック
臨床工学科 科長
奥山 彰広

急性期透析から慢性期外来への
スムーズな準備・移行を実施

2010年末の全国調査では慢性期透析患者数が29万7000人に上り、糖尿病疾患の増加や高齢化に伴って今後も増加するといわれています。慢性腎不全で透析を導入された患者様は、退院後も通院での外来透析を続けていかなくてはなりません。清恵会では、清恵会病院での入院治療時に、外来透析施設の当クリニックの事務員が患者様を訪れ、透析の施行日や時間帯、送迎など外来透析にあたっての説明やご相談を行っています。施設が隣接しているため、施設見学も行っていきます。



透析ケアと早急な連携で、
足のトラブルを未然に防止



糖尿病は、合併症として足のトラブルを起こす可能性があります。当クリニックでは月に1回、透析中の患者様にフットケアを実施し、爪の肥厚や白癬(はくせん)、足のたこ等の観察や閉塞性動脈硬化症の早期発見に努めています。

足背動脈の触知低下、冷感、しびれ、色の変化等が発見された場合は清恵会病院のフットケアセンターに紹介し、足の壊疽(えそ)など重症例の予防につなげています。

連携による血糖値管理で、
患者様を継続的にケア



清恵会病院では、近隣施設からのご紹介や合併症の治療で入院される方もいます。幅広い糖尿病性腎症患者様の中には、インスリン療法による血糖コントロールが必要な方もおられます。当クリニックでは、毎回、透析施行の前後に血糖値の測定を行っており、異変や変動があれば、清恵会病院の糖尿病外来に報告・連携して、慢性期においても血糖コントロールの専門的な指導と対応を行っています。

今回の
まとめ



透析の機器や透析液の管理、施行を行う臨床工学科では、徹底した安全管理と水質管理により、安心で質の高い透析医療を心がけています。私たちは、清恵会病院と当クリニックでの業務を兼任しています。当クリニックで患者様に「知った顔がいると安心する」というと私もうれしいですし、両施設の架け橋として少しでも患者様の不安を解消したいと考えています。

医療連携についてのご質問はコチラへ 清恵会病院地域医療連携部 (内線1413) ☎072-251-8199 <8:30~17:00(月~土曜日)>

学院だより

地域医療の未来を支える若き力

清恵会医療専門学院
清恵会第二医療専門学院

共に汗を流し、仲間も増える！
バレーボールサークルの活動



当学院には、バレーボールサークルがあります。サークルは、看護学科、理学療法士科、放射線技師科と、異なる科の学生や臨床現場で働く先輩方の親睦を図ることを目的に活動しています。

ある日の活動をご紹介します。練習会場は、堺市内にある金岡公園体育館。この日の前半は2チームで、後半は清恵会グループの各施設に勤務する職員の方の卒業生です。加わり、3チームで活動。みんなクタクタになるほどハッスルしたプレーを見せ、時間を忘れて体育館の利用時間いっぱいまで練習や試合を楽しみました。練習の後は、楽しい食事を開き、お互いの交流を図りました。

このように、学科間の交流だけでなく現場との交流もできるのが当サークルの特徴です。学生たちにとっては、学生生活の楽しみとなるだけでなく、これから始まる実習や将来勤める臨床現場の雰囲気、実際の仕事を学ぶこともできる貴重な場となるでしょう。

サークル活動は、月1回、主に金岡体育館で行っており、両学院の学生と卒業生、清恵会グループの職員であれば誰でも参加することができます。

初心者の人でも楽しく参加できる雰囲気ですので、バレーボールをしたい方やスポーツが大好きな方、サークル活動に興味のある方は、是非、参加してみてください。日頃の学業や勤務を忘れて、一緒に楽しい時間を過ごしましょう！



2012年度 入学試験願書受付中!!

平成24年度入学生募集中です。医療法人清恵会の全面バックアップ。安心・充実のカリキュラムで社会に貢献できる医療人を目指してください。

清恵会医療専門学院

第1看護学科 / 第2看護学科 / 准看護学科
堺市北区百舌鳥梅北町2丁83番
TEL: 072-259-3901

清恵会第二医療専門学院

理学療法士科 / 放射線技師科
堺市堺区向陵西町4丁5番9号
TEL: 072-222-6226



詳しくは
Web&携帯で



<http://gakuin.seikeikai.or.jp>

早期のチェックで
病気にチェック!

気軽に体メンテナンス 第六回 脳波検査

脳波を調べ、てんかんや
頭部外傷時の異常を診断

何を調べる検査ですか?

脳波検査は、頭皮の上から脳の働きに伴って発生する微弱な電気活動を検出・増幅し、波形として記録する検査です。

発作の種類によって特徴的な波形を示すてんかんの診断には、欠かせない検査です。また頭部外傷の際に、脳の活動変化や機能的な異常なども知る事ができます。

検査の方法、検査の流れは?

脳波検査は、外部からの電気の交流を遮断したシールドルームと呼ばれる特別な部屋で行います。

検査の際は、まずベッドに仰向けになり、頭皮に電極の伝導性を良くするためのペーストと呼ばれるのりを塗ります。次に、記録に必要な10数個の電極を頭皮に装着し、脳波を記録します。

検査にあたっての注意点は?

通常は安静時、覚醒時、閉眼時の記録を取ります。てんかんの検査では、脳に刺激を与えて異常脳波を誘発する負荷脳波記録も行います。病状によっては、睡眠中の脳波を記録する場合もあります。

検査にあたっては、トイレを済ませおいてください。またお子様の場合は、寝不足気味で来院ください。病状や被験者様の状態によっては、睡眠導入剤を使用する場合もあります。

検査の際は、できるだけ気分を楽にして、検査中も身体力を抜きましょう。

検査後はペーストで頭皮がべたべたしますが、これは入浴時など、水で洗い流せば大丈夫です。

検査の所要時間は?

検査所要時間は、電極装着時も含めて30〜60分程です。
(清恵会病院 検査科)



清恵会地域連携室からのご案内

「清恵会地域医療連携懇談会」開催のご報告

9月17日(土)、「リーガロイヤルホテル堺」におきまして、地域の開業医の先生方を対象とした清恵会地域医療連携懇談会を開催いたしました。

今回は、阪南病院の黒田健治院長を講師としてお招きし、睡眠覚醒障害について貴重な内容のご講演をいただきました。

当日は、大雨にも関わらず多数の先生方にご出席いただき、盛況のもと懇談会を終えることができました。

清恵会では、今後もこうした病院と診療所の連携(病診連携)をさらに充実させ、患者様への良質な医療サービスの提供と、地域の皆様から信頼される病院づくりを目指して、精進と努力を重ねていきたいと考えております。



お問い合わせ

清恵会病院
地域医療連携部 地域連携室

電話 072-251-8199 (内線1413) 8:30~17:00(月~土曜日)

メール s-icls@seikeikai.or.jp

清恵会グループのご紹介

+ 清恵会病院

急性期機能病院

〒590-0024 大阪府堺市堺区向陵中町4丁2番10号
TEL.072-251-8199(代)

+ 清恵会向陵クリニック

人工腎臓透析センター

〒590-0024 大阪府堺市堺区向陵中町6丁2番11号
TEL.072-251-8199(代)

+ 清恵会訪問看護ステーション

訪問看護・訪問リハビリステーション

〒590-0024 大阪府堺市堺区向陵中町4丁4番4号
TEL.072-257-6074

+ 清恵会医療専門学校

看護師・准看護師養成所

〒591-8031 大阪府堺市北区百舌鳥梅北町2丁83番地
TEL.072-259-3901

+ 清恵会本部

〒590-0024 大阪府堺市堺区向陵中町4丁4番4号
TEL.072-251-8199(代)

+ 清恵会三宝病院

複合型慢性期機能病院

〒590-0903 大阪府堺市堺区松屋町1丁4番1号
TEL.072-226-8131(代)

+ 清恵会三国丘クリニック

内科・整形外科・形成外科・小児科・リハビリテーション科

〒590-0024 大阪府堺市堺区向陵中町6丁4番10号
TEL.072-251-8199(代)

+ さんさんデイケア三宝

通所リハビリテーション施設

〒590-0903 大阪府堺市堺区松屋町1丁4番1号
TEL.072-225-0066

+ 清恵会第二医療専門学校

理学療法士・診療放射線技師養成所

〒590-0026 大阪府堺市堺区向陵西町4丁5番9号
TEL.072-222-6226

+ ケアプラス

居宅介護支援・訪問介護・福祉用具貸与

〒590-0024 大阪府堺市堺区向陵中町6丁6番25号
TEL.072-259-4622

TOPICS! 清恵会近隣の文化施設をご紹介します!



地元・堺市の歴史を実感できる「堺市博物館」

仁徳天皇陵の隣、緑豊かな大仙公園内にある堺市博物館は、堺市の歴史・美術・民俗・考古に関する資料を多数展示しています。土器の復元や古墳時代のカブト・ヨロイを試着できる体験学習コーナーもあり、堺市の歴史を体感できるスポットです。

TEL.072-245-6201

堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁大仙公園内



清恵会では
パンフレット撮影で
ご協力いただきました。

清恵会グループWEBサイトご紹介

清恵会グループWEBサイトで「清恵会」の最新情報をご覧ください。
糖尿病情報コーナーや耳寄り情報など、役立つお話が満載です。

清恵会

検索

<http://www.seikeikai.or.jp>